

■：文豪北村透谷が「烈々たる炎暑」と言っていますが、猛暑、熱暑

とこの夏のアツかったこと。周りの肥満体の人たちはこの他たええたようです。天気予報はそりたびに「熱中症」に注意を呼びかける。この熱中症、いつから使い出したのでしょうか。ついこの間まで「日射病」といつていたはずですが。この種の言葉の遊びにもうんざりしますね。

「景気が悪くなったから治安悪化」と内閣府の世論調査で答えた人が47・4%もいたそうです。「景気」と「治安」を結びつけるあたり、安全・安心ニッポンの言葉を含む短絡思考を思わせませんか。

■：大津の中学2年男子生徒がはじめを苦しめ飛び降り自殺した問題。これこそ悲劇の最たるもの。子どもの世界では、火の付いたたばこを友だちの腕に押し付けることを「根性焼き」というそう。これは仙台市内の私立高校であった話。15〜16歳ともなれば根性のあるなすが気になる年ごろでしょうが、それにしても20数カ所も「根性焼き」をやったというから何処かの国の刑罰みたいで、

野蠻もいいところです。学校側は「ほかの生徒に動揺を与えた」と被害生徒に自主退学を求めたというからあきれてモノも言えません。

■：ユーモラスなお話といえは、旧ソ連のペラルーシに飛んで来た軽飛行機がぬいぐるみの「テディーベア」を約800個投下したというニュース。このぬいぐるみには人権の改善を要求するメッセージがついていたそう。欧州最後の独裁者で厳しい国家管理体制を敷くルカシエンコ大統領は烈火の如く怒って防空司令官や国境警備委員長のクビをはねたそう。部外者から見ればユーモアに富む行動と見えるのですがね。

■：わが国にもユーモラスな政党が出現しました。その名も「国民の生活が第一」。これを聞いて、呆（あき）れて首をかしげるやら絶句した有権者が多いのではないのでしょうか。そこらの子どもでも「生活第一」とか「生活があつての自分」だと知っています。そうか、新党だらけで適当な良い名前が浮かばなかったのか、という具合に受け止める有権者もそれにしても党首の小沢某、国民の大半から見向きもされなくなっていることを知らないよう。9月以降

の本人の裁判への対応こそ「第一」と知るべし。

■：「ハマコー」こと「政界の暴れん坊」浜田幸一が去る8月5日、急性心不全で死去、83歳。この大口をたたいて政界をわかしたり、ラスベガスでバカラ賭博をして大負け。これがバレて議員を辞職。この人こそ「日本をダメにした9人の政治家」の1人として大売れに売れた人。あのドロ臭い表情、子どもに聞かせたくない暴言の数々、最後は担保株を売却して融資元に2億円の損害を与えた背任罪で被告の身。しかし政治をマンガ化して見る側面を教えてくれた貴重な人でした。

■：「オスプレイ」騒ぎには米国防府も驚いているよう。米海兵隊の垂直離着陸輸送機のことですが、安全性に問題あり、として日本側は配備にウンといわない。米国側は日米安全保障条約を遵守、戦力強化、日本と米国を守る上で必要な新兵器とみなしているわけですから。トルコか何処かで故障、墜落したから危険、とは日本側。飛行機だから墜落もありで、それではアナタ、海外旅行も飛行機に乗らない、といい張るのですかね。

月刊公論 MONTHLY  
KORON

10月号 第45巻10号

平成24年10月1日発行 毎月15日発売  
定価890円(本体848円) 送料84円

発行人  
発行所

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦  
株式会社財界通信社  
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル  
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616

印刷所  
取次店

株式会社廣済堂  
トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。  
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。